

放課後等デイサービス（ ハナイ ） 事業所評価結果（スタッフ）

配布数

6

回収数

6

回収率

100

%

4

年度

（評価実施日：令和 5年 4月）

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない(わからない)	課題や工夫している点について
環境・体制整備	①	活動スペース等、十分に確保されているか	5		1	食堂が狭いように感じる時がある。コナでも分散して活動するスペースがあった。利用者の特性に配慮し、スペースの確保されているが死角になるところが多い。
	②	設備等にバリアフリー化の配慮が適正になされているか	4	1	1	車イスが通る場合、ドアの所が少し狭く感じる。もっとスムーズに移動出来たらよいと思う。車イスの方がスムーズに出入りできるスロープや、適切に配置されている。
	③	職員の配置数は適切であるか	5	1		カピリナ2に2人の職員はいいと思う。カピリナ2の対応もあり、マイナスになってしまうことがある。利用者数に合わせ柔軟に配置されている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が意識して取り組んでいるか	6			会議・終礼等を通し、必要に応じて話し合いをしている。新入社員のスタートから振り返りが定着している。
	⑤	保護者向けの評価表の活用等によりアンケートを実施し保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	5		1	毎年実施している。保護者の意向に沿えるように努力をしている。地域や保護者からの意見を共有し、振り返りや改善を行っている。
	⑥	自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			HP上にて公開している。スタッフ・保護者どちらにも向けて提示している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1	総会や監査にて指摘があった場合、常に改善に努めている。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			全体会にて伝達研修やオンライン研修等にて参加できるようにしている。会社内に加え、社外研修や外部講師を招いての研修も多く設定されている。
適切な支援の	⑨	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		1	年度初めにサポートブックを記載し、アセスメントツールを作成している。
	⑩	アセスメントを適正に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	6			保護者や本人の要望を聞き、支援計画を作成している。担当を決め、聞き取りにてニーズをくみ取っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		1	担当職員が計画書を作成し、職員全員で話し合い見直しの後内容を決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化されすぎないよう、工夫しているか	5		1	カピリナ2での活動が似た内容になってしまっている所があるので、活動を増やしていきたい。季節のものを取り入れたり、毎日楽しめる様に様々な工夫をしている。利用者に合わせ内容を変えている。長期休みはオリジナル活動を実施。
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎日必ず行っている。その日の前日にカピリナ2の時間当日の役割分担まで決めている。午後の打合せにて行っている。送迎や活動の確認などの打合せを行って職員の動きや内容の確認をしている。
	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6			毎日必ず行っている。終礼にて振り返りを行っている。終礼に参加できないため、翌日に全体通達の確認をしている。

提供	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて個別支援計画を作成しているか	6			保護者の意見、子ども達の意見を取り入れた総括・計画作成を年2回行っている。個人活動や集団活動など楽しめるように配慮している。
	⑯	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5	1		お手伝いや勉強等の課題を設定している。活動時間は明確になっているが、空き時間は細かく設定出来ていない。
	⑰	日々の活動の様子や支援内容、個人の状況など、記録を取ることを徹底し、報告・支援の検証・改善につなげているか	5		1	個人的に日々の活動の振り返りを行い、改善につなげる努力をしている。連絡帳・全体通達・会議録など記載し共有と改善を行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		1	随時評価している。課題の再設定や支援方法の確認を全員、または担当と行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか (自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供)	6			創作や余暇など様々な内容を組み合わせ、工夫して取り組んでいる。季節ごとのプレゼント作成。よさこいチームで祭りに参加し、地域の方と交流を深めている。
関係機関や保護者との連携	⑳	相談支援事業所のサービス担当者会議やモニタリングには、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が、参画しているか	5		1	管理者、リーダーが参画している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			下校表や保護者からの連絡を共有し、調整等を適切に行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等との連絡体制を整えているか	3		3	主治医と直接的な連絡体制は取れていないが、保護者経由で行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育園や幼稚園児童発達支援事業所との間で、情報共有と相互理解に努めているか	5			引継ぎ資料を活用し、共有会議等を行い情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報の提供を行っているか	6			引継ぎ資料・総括・支援計画にて提供し、情報提供を行えている。場合により移行支援会議への参加。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	5		1	各関係機関と情報を共有できている。研修を行い、支援内容の見直し。直接的な指導は無いが、オンライン研修に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	交流会の実施。コロナ渦により実施はできていない。
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	3		3	担当職員が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			日々の引継ぎや、連絡帳の記載でやり取りを行い、利用者のその日の様子を伝え、共通理解できるようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	5			定期的に行っている。年6回コースを2クールで実施した。
	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		2	見学や契約時に説明している。

保護者への説明等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			電話や引継ぎ面談等で相談があった場合は迅速に対応している。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		1	保護者会の開催があり、交流が持てた。事業所ごとに分散で実施した。
	③③	子どもや保護者からの相談や申し入れ等に対し、対応体制を整備（相談窓口の設置や周知）し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		2	相談や苦情があった場合は迅速に対応している。
	③④	定期的に広報誌やホームページ、メールやお知らせ等を通じて、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	6			定期的に広報誌・ブログ・HPにて様々な予定を発信している。Eメッセージ・メール等でも様子や月間予定等の情報を発信している。
	③⑤	個人情報等に十分注意しているか (適切な説明・対応・管理をしている)	6			事業所内で閲覧できる仕組みにし、個人情報を書かれているものは使用后すぐシュレッダーにかけ、管理には十分注意している。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			お互いの思いをくみ取れるよう日々関わり配慮を行い、それぞれに合った伝え方をしている。保護者には丁寧に伝える工夫をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	4	コロナ渦により招待できていない。
緊急時の対応	③⑧	緊急時対応、防犯、感染症対応など、必要なルールやマニュアルを策定し、スタッフや保護者に周知するとともに、訓練や研修等を実施しているか	6			コロナ対策について、毎週の会議で実施している。対応法に変更があった場合、Eメッセージにて周知している。マニュアルを職員に配布し、必ず行っている。
	③⑨	定期的に避難訓練等を行っている (避難訓練の実施について知っている)	6			毎月1度は実施し、必要な物品等備蓄している。
	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保護者からの同意を得る仕組みを整備しているか	5		1	必要以上の身体拘束をとらないように意識していく。ルールを決め、明確化している。いつでも対応できるように説明書や同意書を作成している。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて 医師の指示書に基づく対応をしているか	6			家庭から共有してもらっている場合もあり、アレルギーのある利用者のおやつを専用ボックスにするなどの工夫。アレルギー一覧を作成し、保護者より医師の助言を聞いている。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか	5		1	会議にてヒヤリハットを共有しているが、全事業所では共有できていない。
	④④	子ども達は、通うことを楽しみにしている と思いますか	6			子ども達の笑顔や「楽しかった」の言葉を多く聞くので、楽しみにしているととても感じる。楽しい！明日も来たい！と言ってもらえる環境設定を行っている。楽しい・また来たい。とは聞きますが…

満足度	④⑤	この仕事にやりがいを感じ、日々の支援に満足していますか	4		2	自分自身がやるべきことを出来ていないと感じることは多々ある。毎日やりがいを感じている。自分の支援内容をより幅広くしていきたい。ゴールがないので満足することはないですが、日々満足を目指して支援していきます。
	④⑥	法人・事業所は、サービスの質の向上を目指し、努力していますか	6			子ども達・保護者・事業所のより良い向上を目指し、努力している。